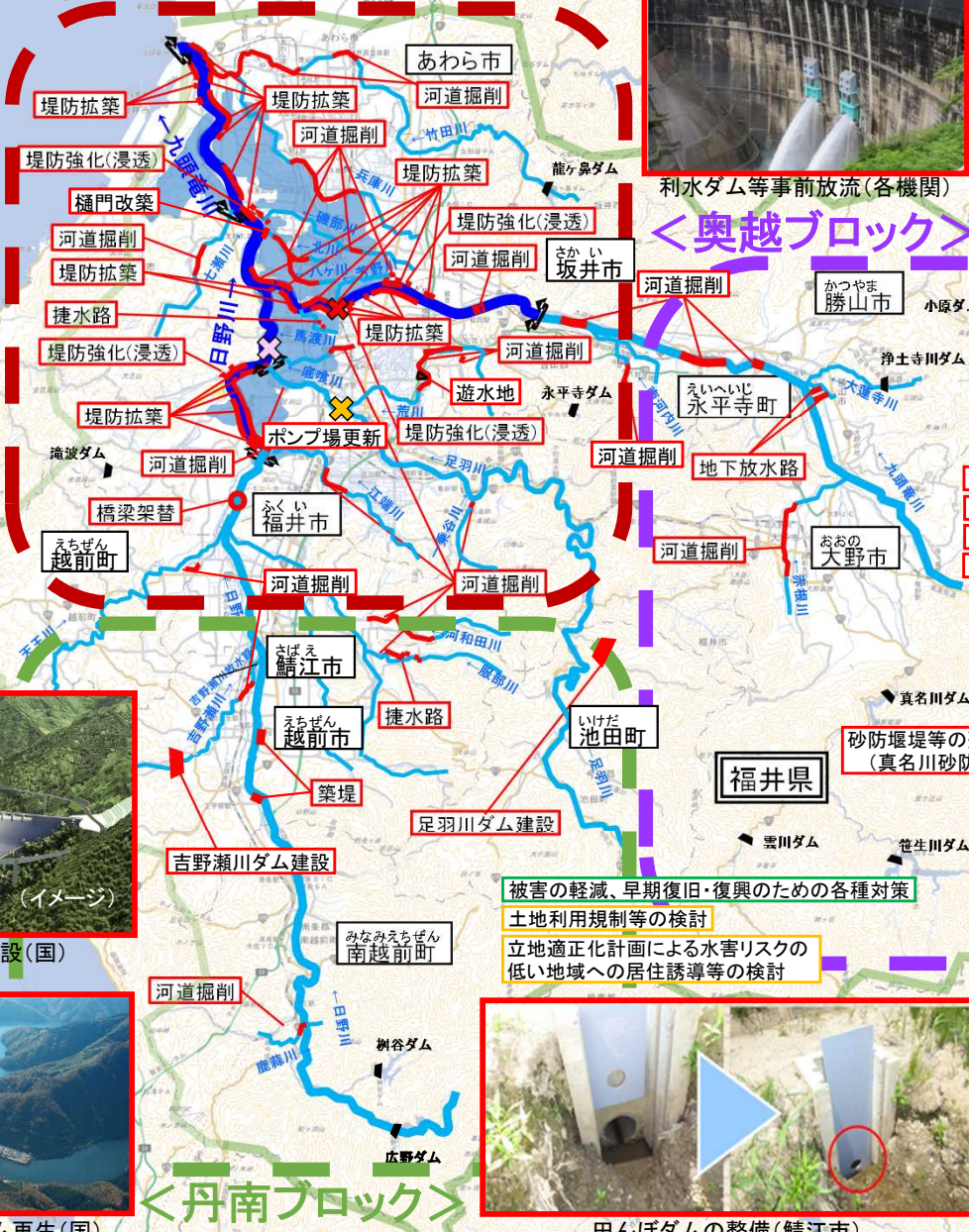


九頭竜川水系流域治水プロジェクト【位置図】 <全体版>

～ダム整備が進んでいる流域だからこそ、洪水調節施設を最大限に活用した即効性のある流域治水対策～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、九頭竜川水系においても、幸福度*日本一の福井を洪水から守るため、近畿で2番目にダムが多い流域だからこそ洪水調節施設を最大限に活用した即効性のある事前防災対策を進める必要があり、国管理区間においては、戦後最大規模の洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。
(※全47都道府県幸福度ランキングにおいて4年連続総合1位)

<福井ブロック>



<奥越ブロック>

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
 - ・河道掘削、築堤、堤防強化、堤防拡築、粘り強い堤防、捷水路、地下放水路、樋門改修、橋梁架替、足羽川ダム建設、吉野瀬川ダム建設、ダム再生、既設ダムの有効活用、河道内樹木伐採、遊水地
 - ・下水道等の排水施設、雨水貯留、調節池
 - ・利水ダム等15ダムにおける事前放流等の体制構築、実施(関係者:国、福井県、福井市、勝山市、永平寺町、北陸電力(株)、電源開発(株)等)
 - ・砂防堰堤等の整備、治山ダム等の整備
 - ・田んぼダム・森林整備・治水効果の検証等

- 被害対象を減少させるための対策**
 - ・立地適正化計画による水害リスクの低い地域への居住誘導等の検討
 - ・土地利用規制・誘導(災害危険区域等)の検討
 - ※今後、関係機関と連携し対策検討

- 森林整備** 既存15ダムの事前放流
- 既設ダムの有効活用**
- 治山ダム整備** 治水効果の検証
- 河道内樹木伐採** 田んぼダム



位置図



- 被害の軽減、早期復旧・復興のための各種対策**
 - 土地利規制等の検討
 - 立地適正化計画による水害リスクの低い地域への居住誘導等の検討



- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
 - ・関係者の役割分担をより明確にしたタイムラインの改良
 - ・ダム下流河川の避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成
 - ・水害リスク空白域の解消
 - ・ハザードマップの更新・周知と説明(想定最大規模の降雨を対象)
 - ・市町を超えた広域避難計画の検討
 - ・災害時における逃げ遅れをなくすため、避難行動要支援者の避難計画の検討
 - ・防災啓発活動を推進させるため、域内全教育委員会へ積極的に働きかける
 - ・小中学校等と連携した防災に関する出前講座の取組み
 - ・高齢者の避難行動の理解促進のための地域包括支援センター・ケアマネジャーとの連携
 - ・水位計、量水標、カメラ設置、活用
 - ・重要水防施設の情報共有と関係市町による共同点検の実施
 - ・洪水時のダムの貯水池の状況を伝えるための手段の充実
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成および避難訓練実施の促進支援
 - ・水位周知河川等の見直し・氾濫危険水位等の基準水位の見直し
 - ・庁舎受電設備、非常用発電設備等の浸水対策
 - ・水防資材の配備等

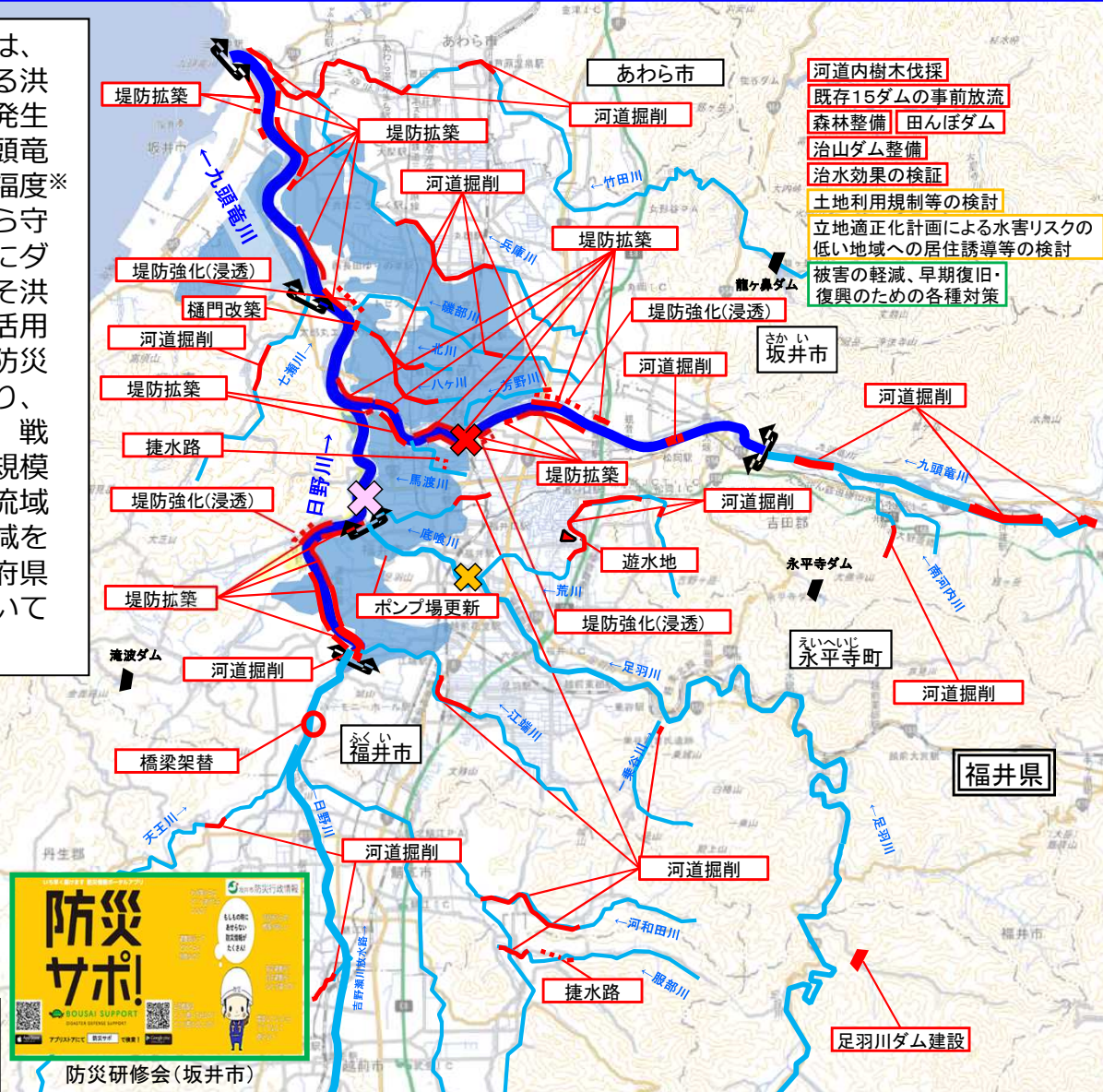
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。
※各ブロックの詳細については、別途詳細図を参照してください。

九頭竜川水系流域治水プロジェクト【位置図】 <福井ブロック>

～ダム整備が進んでいる流域だからこそ、洪水調節施設を最大限に活用した即効性のある流域治水対策～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、九頭竜川水系においても、幸福度※日本一の福井を洪水から守るため、近畿で2番目にダムが多い流域だからこそ洪水調節施設を最大限に活用した即効性のある事前防災対策を進める必要があり、国管理区間においては、戦後最大規模の洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。（※全47都道府県幸福度ランキングにおいて4年連続の総合1位）

位置図



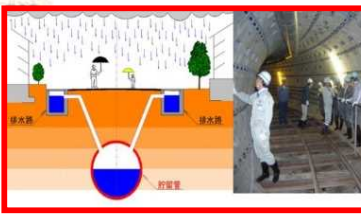
- ### ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ・河道掘削、築堤、堤防強化、堤防拡築、粘り強い堤防、捷水路、地下放水路、樋門改修、橋梁架替、足羽川ダム建設、吉野瀬川ダム建設、ダム再生、既設ダムの有効活用、河道内樹木伐採、遊水地
 - ・下水道等の排水施設、雨水貯留、調節池
 - ・利水ダム等15ダムにおける事前放流等の体制構築、実施（関係者：国、福井県、福井市、勝山市、永平寺町、北陸電力（株）、電源開発（株）等）
 - ・砂防堰堤等の整備、治山ダム等の整備
 - ・田んぼダム・森林整備・治水効果の検証等

- ### ■ 被害対象を減少させるための対策
- ・立地適正化計画による水害リスクの低い地域への居住誘導等の検討
 - ・土地利用規制・誘導（災害危険区域等）の検討
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

- ### ■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ・関係者の役割分担をより明確にしたタイムラインの改良
 - ・ダム下流河川の避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成
 - ・水害リスク空白域の解消
 - ・ハザードマップの更新・周知（想定最大規模の降雨を対象）
 - ・市町を超えた広域避難計画の検討
 - ・災害時における逃げ遅れをなくすため、避難行動要支援者の避難計画の検討
 - ・防災啓発活動を推進させるため、域内全教育委員会へ積極的に働きかける
 - ・小中学校等と連携した防災に関する出前講座の取組み
 - ・高齢者の避難行動の理解促進のための地域包括支援センター・ケアマネジャーとの連携
 - ・水位計、量水標、カメラ設置、活用
 - ・重要水防箇所の情報共有と関係市町による共同点検の実施
 - ・洪水時のダムの貯水池の状況を伝えるための手段の充実
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成および避難訓練実施の促進支援
 - ・水位周知河川等の見直し・氾濫危険水位等の基準水位の見直し
 - ・庁舎受電設備、非常用発電設備等の浸水対策
 - ・水防資材の配備等

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

- ### 凡例
- 河道掘削（河道拡幅を含む）
 - 堤防拡築・築堤
 - 堤防強化（浸透）
 - 捷水路・地下放水路
 - 遊水地
 - ダム
 - 浸水範囲（整備計画規模洪水）
 - ⊗ S23年7月梅雨前線 堤防決壊箇所（国）
 - ⊗ S28年13号台風 堤防決壊箇所（国）
 - ⊗ H16年福井豪雨 堤防決壊箇所（県）
 - ⊗ 大臣管理区間



足羽川ダム建設（国）

重立遊水地整備（県）

加茂河原ポンプ場更新（福井市）

月見・みのり雨水貯留管（福井市）

ため池整備指導（永平寺町）

九頭竜川水系流域治水プロジェクト【位置図】 <奥越ブロック>

～ダム整備が進んでいる流域だからこそ、洪水調節施設を最大限に活用した即効性のある流域治水対策～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、九頭竜川水系においても、幸福度※日本一の福井を洪水から守るため、近畿で2番目にダムが多い流域だからこそ洪水調節施設を最大限に活用した即効性のある事前防災対策を進める必要があります。国管理区間においては、戦後最大規模の洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。
 (※全47都道府県幸福度ランキングにおいて4年連続の総合1位)



間伐の実施(国、県、市、町、森林整備センター)

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- ・河道掘削、築堤、堤防強化、堤防拡築、粘り強い堤防、捷水路、地下放水路、樋門改修、橋梁架替、足羽川ダム建設、吉野瀬川ダム建設、ダム再生、既設ダムの有効活用、河道内樹木伐採、遊水地
 - ・下水道等の排水施設、雨水貯留、調節池
 - ・利水ダム等15ダムにおける事前放流等の体制構築、実施(関係者: 国、福井県、福井市、勝山市、永平寺町、北陸電力(株)、電源開発(株)等)
 - ・砂防堰堤等の整備、治山ダム等の整備
 - ・田んぼダム・森林整備・治水効果の検証等

- 被害対象を減少させるための対策**
- ・立地適正化計画による水害リスクの低い地域への居住誘導等の検討
 - ・土地利用規制・誘導(災害危険区域等)の検討
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

- 河道内樹木伐採
- 既設ダムの有効活用
- 既存15ダムの事前放流
- 森林整備 田んぼダム
- 治山ダム整備
- 治水効果の検証

- 土地利用規制等の検討
- 被害の軽減、早期復旧・復興のための各種対策
- 立地適正化計画による水害リスクの低い地域への居住誘導等の検討

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- ・関係者の役割分担をより明確にしたタイムラインの改良
 - ・ダム下流河川の避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成
 - ・水害リスク空白域の解消
 - ・ハザードマップの更新・周知(想定最大規模の降雨を対象)
 - ・市町を超えた広域避難計画の検討
 - ・災害時における逃げ遅れをなくすため、避難行動要支援者の避難計画の検討
 - ・防災啓発活動を推進させるため、域内全教育委員会へ積極的に働きかける
 - ・小中学校等と連携した防災に関する出前講座の取組み
 - ・高齢者の避難行動の理解促進のための地域包括支援センター・ケアマネジャーとの連携
 - ・水位計、量水標、カメラ設置、活用
 - ・重要水防箇所の情報共有と関係市町による共同点検の実施
 - ・洪水時のダムの貯水池の状況を伝えるための手段の充実
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成および避難訓練実施の促進支援
 - ・水位周知河川等の見直し・氾濫危険水位等の基準水位の見直し
 - ・庁舎受電設備、非常用発電設備等の浸水対策
 - ・水防資材の配備等

位置図



- 凡例
- 河道掘削(河道拡幅を含む)
 - 堤防拡築・築堤
 - 堤防強化(浸透)
 - 捷水路・地下放水路
 - 遊水地
 - ダム
 - 浸水範囲(整備計画規模洪水)
 - S23年7月梅雨前線 堤防決壊箇所(国)
 - S28年13号台風 堤防決壊箇所(国)
 - H16年福井豪雨 堤防決壊箇所(県)
 - 大臣管理区間



水防箇所の見回り活動(勝山市)



利水ダム等事前放流(関係機関)



九頭竜川上流ダム再生(国)



中島鎌谷川第二堰堤整備(国)

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

九頭竜川水系流域治水プロジェクト【位置図】 <丹南ブロック>

～ダム整備が進んでいる流域だからこそ、洪水調節施設を最大限に活用した即効性のある流域治水対策～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、九頭竜川水系においても、幸福度※日本一の福井を洪水から守るため、近畿で2番目にダムが多い流域だからこそ洪水調節施設を最大限に活用した即効性のある事前防災対策を進める必要があります。国管理区間においては、戦後最大規模の洪水と同規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。
(※全47都道府県幸福度ランキングにおいて4年連続の総合1位)

位置図



- 凡例
- 河道掘削 (河道幅幅を含む)
 - 堤防拡築・築堤
 - 堤防強化(浸透)
 - 捷水路・地下放水路
 - 遊水地
 - ダム
 - 浸水範囲(整備計画規模洪水)
 - ✕ S23年7月梅雨前線 堤防決壊箇所(国)
 - ✕ S28年13号台風 堤防決壊箇所(国)
 - ✕ H16年福井豪雨 堤防決壊箇所(県)
 - ◀▶ 大臣管理区間



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、築堤、堤防強化、堤防拡築、粘り強い堤防、捷水路、地下放水路、樋門改修、橋梁架替、足羽川ダム建設、吉野瀬川ダム建設、ダム再生、既設ダムの有効活用、河道内樹木伐採、遊水地
- ・下水道等の排水施設、雨水貯留、調節池
- ・利水ダム等15ダムにおける事前放流等の体制構築、実施(関係者: 国、福井県、福井市、勝山市、永平寺町、北陸電力(株)、電源開発(株)等)
- ・砂防堰堤等の整備、治山ダム等の整備
- ・田んぼダム・森林整備・治水効果の検証等

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・立地適正化計画による水害リスクの低い地域への居住誘導等の検討
- ・土地利用規制・誘導(災害危険区域等)の検討
- ※今後、関係機関と連携し対策検討

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・関係者の役割分担をより明確にしたタイムラインの改良
- ・ダム下流河川の避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成
- ・水害リスク空白域の解消
- ・ハザードマップの更新・周知(想定最大規模の降雨を対象)
- ・市町を超えた広域避難計画の検討
- ・災害時における逃げ遅れをなくすため、避難行動要支援者の避難計画の検討
- ・防災啓発活動を推進させるため、域内全教育委員会へ積極的に働きかける
- ・小中学校等と連携した防災に関する出前講座の取組み
- ・高齢者の避難行動の理解促進のための地域包括支援センター・ケアマネジャーとの連携
- ・水位計、量水標、カメラ設置、活用
- ・重要水防箇所の情報共有と関係市町による共同点検の実施
- ・洪水時のダムの貯水池の状況を伝えるための手段の充実
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成および避難訓練実施の促進支援
- ・水位周知河川等の見直し・氾濫危険水位等の基準水位の見直し
- ・庁舎受電設備、非常用発電設備等の浸水対策
- ・水防資材の配備等



避難確保計画作成支援(県・越前市)



吉野瀬川ダム建設(県)



田んぼダムの整備(鯖江市)



調整池の設置検討(越前市)



越美山地緑の回廊整備(国)

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。